1．組織拡大・強化、人材育成を実践し社会的影響力のある労働運動の展開

組織拡大・強化の取り組み

（1）組織拡大の推進・強化

①組織拡大の実践

第７次組織拡大中期計画（2015 ～ 2020 年度の６年間）のスタート年にあたり、第 26 回定期大会において、キックオフを行った。第１クール「ADVANCE」期間では、年２回の取り組み月間の設定をした。基盤強化月間では、組織拡大の協議の場が整っていない構成組織や地協に対し組織拡大委員会設置の要請を行い、新たに３つの構成組織と全地協において組織拡大委員会が設置された。また、訪問活動の継続、各月間に合わせたセミナーや実践研修会を開催し、強力に推進を図った。

その結果、2015 年度の実績は、5,437 人（9月末現在）の拡大になり、単年度で 10,000 人の拡大目標に対する達成率は 54.4% となった。

組織拡大実践研修会

2015 年度
組織拡大セミナー

②個人加盟の取り組み

個人加盟の取り組みについては、本年度の方針に掲げて取り組んできた。

組織化の結果として、労働相談の２つの案件について組織化にむけた結成準備会のメンバーを個人加盟とし対応した。

③労働相談センター、連合愛知地域ユニオンの連携強化

労働相談センターには、年３回の全国一斉労働相談ダイヤルを含めて年間 800 件を超える相談が寄せられた。実施にあたっては、労働相談対応力の強化・平準化にむけて、労働相談事前研修会を開催した。

地域ユニオンでは、地協と加盟組合から執行委員を選出・増員し、執行委員会の定期開催をするなど体制強化し推進した。組織拡大推進チームとして労働相談からの組織化にむけた支援活動として、連合愛知地域ユニオンと連携をし、２組合の組織化を成し得た。しかし、一方で連合愛知地域ユニオンに加盟する組合のうち、１組合が単組事情により脱退した。また、従前より地域ユニオン加盟の 11 組合は、自立度合いから、構成組織への移行には至らなかった。

労働相談ダイヤル

(2) 組織活動の充実強化

①構成組織との連携強化

構成組織の日常の活動に対するフォローアップを目的に、時宜をとらえた訪問活動を実施した。訪問活動では、組織強化にむけた取り組みや、各種取り組み要請に対する構成組織としての対応と課題などについて把握するとともに、連合愛知の活動に対する理解と協力を求めた。

②地協活動の充実強化

連合愛知と地協との一体的な活動を進めるため、地協代表者会議（2月9日）、地協役員研修会（6月28・29日85名の参加）、地協三役意見交換会（7・8月）を開催した。

また、地協事務局長会議を、毎月の執行委員会終了後を基本に開催し、各種取り組みについて共通認識を図った。

加えて、各地協において開催されている幹事会に会長や事務局長が訪問することで、連合活動に対する地協からの意見を直接聞く機会を設けた。

2015 地協役員研修会

③部門連絡会の活動充実

金属部門連絡会は、春闘における取り組み共有をはじめ、ＪCM東海ブロックの活動や各構成組織の取り組み状況報告などの意見交換とともに、加盟構成組織の工場視察を行い、役員の見識を拡げるための研修会を行った。

交通・運輸部門連絡会は、愛知県交運労協と連携し、年間活動計画にもとづき春闘関連の情報交換とともに、交通関連施設の視察（ヤマト運輸長久手配送センター）や愛知県・名古屋市・愛知県警への要望書の取りまとめを行い、8月に要望書を提出した。

官公部門連絡会は、年間活動計画をはじめ春闘情勢、9月の官公部門学習会や要請行動の内容検討を中心に開催するとともに、公務労働者の労働条件整備にむけ、人事院中部事務局や愛知県・名古屋市人事委員会などに対して3月と7月に要請行動を行った。

連合愛知 2015 官公部門学習会

④事業団体との連携強化

執行委員会で各事業団体の活動･取り組み状況などを構成組織へPRする場を設けるなど、取り組みの連携を図った。また、地協においては労福協各支部主催の各種行事などに参加し、連携を図った。

勤労者安心ネットワークセンターについては、担当者会議を開催し、意見交換を行うことで、課題などの共有化を図った。(年間相談件数131件)

また、広報活動として、新たにホームページを作成するなど、認知度向上を図る周知を実施した。

⑤シルバー倶楽部との連携

連合愛知シルバー倶楽部は、定期的に三役・幹事会を開催し、退職者連合の方針を地域で推進した。民主党愛知県連所属国会議員への要請行動やブロック会議にも出席し、積極的な活動を行った。また、11月には会員相互の連帯と親睦・交流を図ることを目的に、「第24回定期総会」「おたのしみ演芸会」を開催した。

シルバー倶楽部第24回定期総会

2014おたのしみ演芸会

(3) 連合東海ブロック活動の連携強化

連合東海ブロック連絡会の代表幹事県として事務局を担い、連合中央執行委員会などに出席してブロックとしての意見反映を行った。

連合本部が提起する諸課題について、東海ブロック各県連合会と連携を深めながら、積極的な活動を展開した。

特に労働者保護ルール改悪阻止に向けた「STOP THE 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーンでは、全国統一行動においてブロック統一日を設定しブロック内の全地協での街頭活動を展開した。

また、すべての働く者が生涯安心して働き続けるための政策・制度実現を目指し、『労使コミュニケーション』をテーマとした「東海ブロック2015政策研究集会(7月27日～28日)」に参画し、ブロック内各県と積極的に議論を行い、認識を深めた。

東海ブロック政策研究集会

人材育成と男女平等参画推進への取り組み

（1）連合愛知ユニオントレーニングの実践

2014年度より実施している中小労組役員を中心とした、「ユニオントレーニング　アドバンスコース」については、2015年度についても継続して開催（受講者21名）した。カリキュラムにはオープン講座を併設することで、より多くの組合役員・組合員が参加し、好評を得た。

また、昨年度修了生の「フォローアップ講座」も同時に開催し、今年度受講生との意見交換会を行った。

ユニオントレーニング　アドバンスコース

（2）青年委員会の取り組み

若手リーダーの育成をめざし、年間計画にもとづいた各種行事にむけ、委員会内において議論を行い、企画から実施までを行った。「ＥＣＯとやろう！キャンペーン」は地協メーデー会場（尾張中地協）において初開催し、好評を得た。

また戦後70年の節目として、愛知県中央メーデーにおいて「原爆パネル展」の企画・運営を行い、「平和の尊さ」についてのＰＲ活動を行った。

４年目となるＺＩＰ－ＦＭでのラジオ番組については、制作から携わり、新社会人を対象として働くことをともに考える番組作り・出演を行った。

学習会では、２月に女性委員会と合同で土肥会長との対話会、政治学習会を行ったほか、７月に国政研修会として国会見学・議員との意見交換会を行った。

愛知県中央メーデー　原爆パネル展

ZIP-FM ラジオ出演

ECO とやろう!キャンペーン

(3) 女性委員会の取り組み

女性のエンパワーメントの向上をめざし、企業の第一線で活躍する女性執行役員との意見交換を開催した。

また、「輝く女性役員になろう！」と題し女性セミナーを開催した。女性役員などが参加し、今後の活動へのスキルアップとなった。女性委員会主催として、初のセミナーのため、女性同士のネットワーク作りもできた。

街頭宣伝行動では、３．８国際女性デーと男女平等月間にあわせ、職場や社会における男女平等や女性活躍の必要性などを訴えた。

3.8 国際女性デー街頭宣伝行動

(4)「第3次男女平等参画推進計画」の実践

男女平等参画推進委員会のもとで、計画に掲げた数値目標に対する構成組織の進捗状況調査とヒアリングを実施し、組織の好事例など共有化を図りさらなる取り組みの強化を要請した。

６月の男女平等月間には、男性の長時間労働などの働き方改革や、組織の管理者の意識改革などを目的とする「イクメン・イクボス」をテーマとしてセミナーを開催した。また、労働組合だけでなく広く職場や社会における男女平等参画の実現を訴え街頭宣伝行動を行った。

2015 男女平等月間セミナー

広報活動の取り組み

(1) 効果的な広報活動

連合愛知事務局内で、各局広報計画の情報共有を図り、広報媒体の体裁や使途、効果的な宣伝・広報活動のあり方について検討し実施した。

労働相談における告知活動などについては、新聞・ラジオ広告、マスコミへのプレスリリースなどでのＰＲに加え、連合愛知ホームページにおいてタイムリーな情報発信を行い、周知を徹底するなど充実した広報活動に努めた。

連合愛知の活動に対する組合員の評価や意識などを把握し今後の活動に反映させることを目的とした「Ｗｅｂモニター制度（仮称）」について、本年度についてはＷｅｂアンケートとし、５～６月に「第18回統一地方選挙」について行った。

Web アンケート

（2）連合運動を社会に広める取り組み

①若者に向けた取り組み

連合愛知助け合い運動「就職支度支援金贈呈式」にて、就職予定者に対し、「知っ手帳」を配付した。

また、愛知県やヤングジョブあいち（あいち若者就業支援センター）と連携を取りながら受付窓口や就活展などの催しの際での配布を依頼した。

連合愛知寄付講座については、大学への提案を行ったが、開設には至らなかった。

知っ手帳

②継続的かつ戦略的な街頭宣伝行動の取り組み

連合の政策や平和行動などの活動を幅広く県民に訴えるため、11地協と連動して月１回実施することを基本とした連合愛知街頭宣伝行動計画を策定し、県下各地域で実施した。

また、連合愛知の更なる認知度向上を目的に、ゆとり号・ここあによる愛知県内キャラバン（２年で一巡予定）を行うなど、連合愛知の取り組みなどを県民へ訴えた。

なお、５月に行われた連合「ＳＴＯＰ ＴＨＥ 格差社会！暮らしの底上げ実現」キャンペーン第３弾では、構成組織、地協、各級議員と連携し、県内地協キャラバンや街頭宣伝行動を展開し、世論喚起を行った。

街頭宣伝行動（尾張西地協）

街頭宣伝行動（尾張中地協）

街頭宣伝行動（尾張南地協）

街頭宣伝行動（名古屋地協）